

# 議事 1

## 第 2 回検討委員会の振り返り

---

# 実施概要

## ■実施日・実施場所

- ・日時：令和3年11月5日（金）10：00～11：30
- ・場所：久慈市役所 3階 大会議室 及び ZOOM WEB会議

## ■議事内容

議事1 第1回検討委員会の振り返り

議事2 今年度の進捗状況

- ・ 進捗状況
- ・ 鳥類調査
- ・ 魚類調査
- ・ 海底地形・地質調査
- ・ 海象調査
- ・ エネルギーの地産地消の手法：水素利用について
- ・ 事業性の検証：発電事業者ヒアリング
- ・ 先進地調査
- ・ 風況調査手法の検討

議事3 今後の予定

議事4 その他

# ご意見と対応方針（1/2）

項目	ご意見	対応方針
調査について	<ul style="list-style-type: none"><li>水深が浅い側の地点では魚類がないという結果だが、海洋環境の鉛直分布の情報がないため、常に魚類がないのか、季節によって利用場所が変化するか判断できず、魚類にとって、当該海域がどの程度重要か不明である。生物相から海洋環境を想定することもできる。</li><li>風況調査は、洋上での周年観測は莫大なコストがかかるため、困難であれば間接的な現況把握手法を検討してはどうか。</li></ul>	<ul style="list-style-type: none"><li>ROVには水温計が装着されておらず、またこれまでSTDによる鉛直観測は行っていない。海面水温については既存データがいくつかあり、水温の経年変化と漁獲量の変化を整理する。また今後、漁業協調策を検討する上で引き続き情報収集する。</li><li>風況調査については、本事業内で陸上の観測（風況観測タワーと鉛直ライダーによる）を実施します。一方、当該海域に興味を有する発電事業者の意向を考慮し、発電事業者による共同調査で洋上での実測を促すことで、当該海域での乱立を防止と事業者による事業性の検討の両立を目指す。</li></ul>

# ご意見と対応方針 (2/2)

項目	ご意見	対応方針
環境影響評価について	<ul style="list-style-type: none"><li>・ 配慮書と方法書相当の「図書」を作り、県の審査会へ照会し、意見を取り込むとある。配慮書・方法書相当の成果というのは理解しているが、「図書」の準備となると別の話になるのではないか。</li></ul>	<ul style="list-style-type: none"><li>・ 法的な環境影響評価とは切り離し、当面は、ゾーニング報告書をベースとした配慮書の原稿を作成し、またこれまでの様々な調査実施を踏まえ方法書原稿も用意することで、事業の短縮に寄与することとしたい。</li></ul>